



取扱説明書

コードレス スチームアイロン (家庭用)

品番 NI-WL600
NI-WL500

仕様		
電源	交流 100V (50-60Hz 共用)	うっかりストッパー アイロンをスタンドに放置後約 10 分後にヒーター回路を切る
消費電力	1200W	自動温度調節器 設定温度 約 120℃～約 200℃ 高・中・低 (3段階設定)・切
種類	スチーム (スチームパワーショットハンガーショット) スプレー (NI-WL600のみ) ドライ (自動アイロン) 兼用	温度過昇防止装置 温度過昇防止器
蒸気発生方式	滴下式	大きさ (収納時) 長さ 約 29cm 幅 約 18cm 高さ 約 21cm (アイロン)長さ 約 22cm 幅 約 10cm 高さ 約 13cm
タンク	着脱式 (満水表示目盛付)	質量 (収納時) 約 2.0kg (アイロン) 約 1.0kg
注水量	約 120ml	かけ面 広さ 約 160cm ²
ランブ	温度表示 / 切	コード 1.6m・コードリール付き
パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください お宅の家電情報をまとめて登録管理! エンジョイポイントをためてプレゼントに応募!		
PC	http://club.panasonic.jp/	※このサービスは WEB 限定のサービスです。
携帯	http://mobile.club.panasonic.jp/	

保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」(2～3 ページ)を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ店・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニック株式会社 ランドリービジネスユニット
〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号
S1109-0
i82006-6A94A
© Panasonic Corporation 2009

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を図記号で説明しています。

禁止 してはいけない内容です。

注意 実行しなければならない内容です。

警告

火災や感電、けがを防ぐために

■電源プラグ・コードは

次のことをしない (火災・感電のおそれ)

- 傷つけない、加工しない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない、重いものを載せない、束ねない、熱器具に近づけない。
- コードを持って抜かない。
- ぬれた手で抜き差ししない。
- コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みが緩いときは、使用しない。
→販売店へ修理を依頼してください。

■アイロン、スタンドは

子供など不慣れな方だけに使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない (やけど・感電・けがの原因)

絶対に分解・修理・改造しない (発火・異常動作によるけがの原因)

落下させるなど、アイロンに損傷や水漏れがある場合は使用しない (発火・感電のおそれ)
→販売店へ修理を依頼してください。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く (発煙・発火・感電のおそれ)

- 電源プラグや本体などが異常に熱かったり、変形・変色している。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
→販売店へ点検・修理を依頼してください。

コードを収納するときは、電源プラグを持って巻き取る (プラグが当たって、けがの原因)

■使用中は

熱いスチームやショットに触れない (やけどの原因)

- スチームが透過するアイロン台を使用するときは、アイロン台の下に手や足などを入れない
- アイロン台からはみ出した状態でスチームやショットの操作をしない

手、ひざ、身体にかけない
着用したままの衣類にかけない

高温部 (かけ面・カバー・タンク下部) に手触れない (やけどの原因)

アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない (湯滴が出て、やけどの原因)

ショットボタンを連続して早く操作しない (2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出て、やけどの原因)

ショットの勢いが弱くなったならショットボタンは操作しない (湯滴が出て、やけどの原因)

■アイロン、スタンド、ケースは

衣類に縫い針などをさしたままアイロンかけをしない (アイロン内部に入り、ショートの原因)

反対方向に持って、アイロンをかけない (ボタンの誤操作によりスチームや湯滴が出てやけどの原因)

スタンドの接点にピンや針金で触れたり、ごみを付着させたりしない (感電・ショート・発火の原因)

ケースをスタンドに確実にセットする (持ち運ぶとき) (アイロン、スタンドが落下してけがの原因)

湿った衣類 (霧吹きした衣類) は、ドライでアイロンかけをする (スチームでアイロンかけをすると湯滴が出て、やけどの原因)

アイロンの近くで可燃性ガス (ペンジンなど) が発生するものを使用しない (火災の原因)

やけど、けがを防ぐために

注意

■アイロン、スタンド、ケースは

衣類に縫い針などをさしたままアイロンかけをしない (アイロン内部に入り、ショートの原因)

反対方向に持って、アイロンをかけない (ボタンの誤操作によりスチームや湯滴が出てやけどの原因)

スタンドの接点にピンや針金で触れたり、ごみを付着させたりしない (感電・ショート・発火の原因)

ケースをスタンドに確実にセットする (持ち運ぶとき) (アイロン、スタンドが落下してけがの原因)

湿った衣類 (霧吹きした衣類) は、ドライでアイロンかけをする (スチームでアイロンかけをすると湯滴が出て、やけどの原因)

アイロンの近くで可燃性ガス (ペンジンなど) が発生するものを使用しない (火災の原因)

■使用中は

熱いスチームやショットに触れない (やけどの原因)

- スチームが透過するアイロン台を使用するときは、アイロン台の下に手や足などを入れない
- アイロン台からはみ出した状態でスチームやショットの操作をしない

手、ひざ、身体にかけない
着用したままの衣類にかけない

高温部 (かけ面・カバー・タンク下部) に手触れない (やけどの原因)

アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない (湯滴が出て、やけどの原因)

ショットボタンを連続して早く操作しない (2秒間隔より早く操作すると、湯滴が出て、やけどの原因)

ショットの勢いが弱くなったならショットボタンは操作しない (湯滴が出て、やけどの原因)

■アイロン、スタンド、ケースは

衣類に縫い針などをさしたままアイロンかけをしない (アイロン内部に入り、ショートの原因)

反対方向に持って、アイロンをかけない (ボタンの誤操作によりスチームや湯滴が出てやけどの原因)

スタンドの接点にピンや針金で触れたり、ごみを付着させたりしない (感電・ショート・発火の原因)

ケースをスタンドに確実にセットする (持ち運ぶとき) (アイロン、スタンドが落下してけがの原因)

湿った衣類 (霧吹きした衣類) は、ドライでアイロンかけをする (スチームでアイロンかけをすると湯滴が出て、やけどの原因)

アイロンの近くで可燃性ガス (ペンジンなど) が発生するものを使用しない (火災の原因)

使用上のお願い

■アイロン本体に

- 水をかけないで! (故障の原因)
- リネンウォーターなどの香料を含んだ水をタンクに入れないで! (本体破損の原因)
- 市販のかけ面アタッチメントを取り付けて使わないで! (誤動作の原因)
- アイロン内部にピンや針金などを入れないで! (故障の原因)

■アイロンをかけるときに

- コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してショットをかけて! 皮革製品・絹などにも使用しないで! (衣類を傷める原因)
- 高級品や特殊加工品などには目立たない所のためにしけを! ●特にご注意 ベルベット、アクリルナイロン、カシミアなど
- ボタン・ファスナー等の固いものにアイロンかけをしないで! (傷付きの原因)

■スタンドから外して、連続してアイロンかけできる時間 (ノーマルスチームの場合)
→ 約 1 分 30 秒～2 分 30 秒 (「高」の場合)
※使用条件により異なります。

- 布地を傷めないために 低温・中温表示などの熱に弱い布地や色の濃い布地には、目立たない部分に「ためしけ」をし、必要に応じて「あて布」をしてください。
- 繊維専用です。他の目的では使わないで!
- 布地のテカリを防止するには「あて布」をしてください。

NI-WL500 をお買い上げのお客様へ

- NI-WL600 に対して「スプレーボタン」がありません。その他の機能は同じです。
- 説明イラストは、NI-WL600 を使っています。

Q&A

故障かな？

Q アイロン本体を振ったとき・使用中の「カチカチ」音や小さな金属音は？

A 水もれストッパーや目づまり防止の部品、スプレーを出すための部品が動く音です。異常ではありません。

Q アイロンをスタンドへ置いたときに「シュー・シュー」と音がして、スチームが出るのですが？

A 布地に合った温度でアイロンかけをしてください。また、洗濯した衣類に洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。

Q スチーム (特にショット) 使用時に白い粉が出るのですが？

A 水あか (水に含まれる鉱物質など) が出るもので異常ではありません。白い粉が衣類に付いた場合は、払っていただくのと取れます。
→ご使用前に、不用の布の上で数回パワーショットを出してからお使いください。

故障かな？	この表を見ながらチェックしてください。直らないときは修理をご依頼ください。
症状	調べるところ・原因・対策
熱くならない	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。(P.9) ●アイロンをスタンドへ正しく戻してください。(P.13)
スチーム・ショットが出ない / 少ない	●タンクの満水目盛まで水を入れてください。(P.8) ●ショットボタンを数回操作してください。 ●アイロンをスタンドへ戻し、温度表示ランプが点滅していれば、点灯になるまで待ってください。 ●約 30 秒間給電してください。(P.13) ●スチーム使用時は、スチーム切換レバーをスチームにしてください。(P.13) ●温度設定を「高」にしてください。(P.9)
スプレーが出ない	●スプレーボタンを数回操作してください。 ●タンクの満水目盛まで水を入れてください。(P.8)
水がもれる・湯滴が出る	●ショット使用時はショットボタンを2秒以上間隔をあけて操作してください。(P.12) ●温度表示ランプが点滅しているときは、点灯になるまで待ってください。
アイロンかけをすると、衣類が汚れる	●容器を使って水を入れる場合は、きれいな容器を使用してください。ジュースなどが残っている容器に入れた水を使用すると、衣類を汚す原因になります。
温度設定ができない	●アイロンをスタンドへ正しく戻してください。(P.13)
布地が焦げる	●温度表示ランプが点滅しているときは、点灯になるまで待ってください。 ●温度設定を適温に合わせると、「あて布」をしてください。
コードが巻き込まない	●コードのよじれを元に戻してから、ゆっくりと巻き込んでください。 ●赤印以上引っ張ったときは、少し強めに引っ張ってから、巻き込んでください。

愛情点検

長年ご使用のアイロンの点検を!

こんな症状はありませんか

- 電源プラグや本体が異常に熱い。
- 焦げくさい臭いがする。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 自動的に電源が切れない。
- かけ面やとってが異常に熱い。
- その他の異常、故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	札幌市厚別区厚別南2丁目1-7-7 旭川市2条通16丁目1166 帯広市西20条北2丁目22-3 函館市西条通58番地2-41 (函館流通センター内) 青森市大字区字南田364 秋田市外旭川字小谷地3-1 盛岡市廣川5丁目1-43 仙台市宮城野区扇町7-4-18 山形市平清水1丁目1-75 郡山市龜田1丁目51-15 宇都宮市上戸町3丁目3-19 前橋市堀田332-1 つくば市筑前3丁目15-3 柳川市赤堀2丁目4-2 千葉市中央区末広5丁目9-5 東京都世田谷区喜多5丁目26-17 山梨県 神奈川県横浜市都心2丁目3-16 新潟県 石川県 富山県 福井県 長野県 静岡県 岐阜県 高山市 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 奈良県 和歌山県 兵庫県 鳥取県 米子市 松江県 出雲県 浜田県 岡山県 広島県 山口県 香川県 徳島県 高松市 愛媛県 高松市 佐賀県 福岡県 長崎県 大分県 宮崎県 熊本県 大分県 鹿児島県 大島県 沖縄県	(011)894-1251 (0166)22-3011 (0155)33-8477 (0138)48-6631 (0177)75-0326 (0186)68-7008 (019)645-6130 (022)387-1117 (023)641-8100 (024)991-9308 (028)689-2555 (027)254-2075 (029)864-8756 (048)728-8960 (043)208-6034 (03)5477-9700 (055)222-5822 (045)847-9720 (025)286-0180 (076)280-6608 (076)424-2549 (0776)21-0622 (0263)86-9209 (054)287-9000 (052)819-0225 (058)278-6720 (057)733-0613 (059)254-5520 (077)582-5021 (075)646-2123 (06)8359-6225 (0743)59-2270 (073)475-2984 (078)796-3140 (0857)26-9695 (0859)34-2129 (0852)23-1128 (0853)21-3133 (0855)22-6629 (086)242-6236 (082)295-5011 (083)973-2720 (087)868-6388 (089)624-0253 (089)834-3142 (089)905-7544 (092)593-9036 (0952)26-9151 (095)830-1658 (097)556-3815 (0985)83-1213 (096)367-6067 (0969)22-3125 (099)250-5657 (099)753-5101 (098)877-1207
------	--	--

●製品名 コードレス スチームアイロン

●品番

●故障の状況 できるだけ具体的に

修理を依頼されるときは

5 ページでご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●保証期間中は、保証書 (裏表紙) の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。 ※補修用性能部品の保有期間 [5 年]

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用	当社は、本製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するための部品) を、製造打ち切り後 5 年保有しています。
部品代	部品および補助材料代	
出張料	技術者を派遣する費用	

■転居や贈答品などでご困りの場合は、次の窓口にご相談ください

●修理に関するご相談は………

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

※ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

- ・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- ・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
- ・ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。(お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。)

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 0509

ケース

■外し方（テーブルなどに置いて行う）
①両サイドのケースツマミを同時に開く
②ケースを持ち上げる

ケースツマミ

1 タンクに上水道の水を入れる
（ドライで使う場合、水は不要）

1 スチーム切換レバーを「☁（ドライ）」にする
（水漏れ防止のため）

2 タンク取り外しボタンを押しながら、タンクを外す

3 水を入れる
上水道の水以外は入れない

こんな水は入れないで！
●ミネラルウォーター ●軟水器の水
●アルカリイオン整水器
●リネンウォーターなどの香料を含んだ水など

●水を入れ過ぎるとスタンドに置いたとき、スチームが出ます。
●タンクに水を入れる前に、電源プラグをコンセントへ差し込まないでください。

4 注水口ふたを必ず開けてから、「カチッ」と音がするまで押してタンクを取り付ける

スチーム穴の目づまりを起こしにくくします。
●週2回（30分のアイロンかけ）のご使用で、約15年効果が持続します。
※使用条件（水質等）によって異なります。
●振ったときに目づまり防止剤の「カタカタ」と音がしますが、異常ではありません。

スチーム切換レバー
ショットボタン
スプレーボタン（NI-WL600のみ）
温度設定ボタン
とって
タンク

注水口ふた
スプレーノズル（NI-WL600のみ）
タンク取り外しボタン
かけ面
カバー
赤印 ※この印以上引き出さない。
コード
電源プラグ
交流100V

繊維案内表示

アイロン

2 電源プラグをコンセントに差し込む

●「切」ランプが点灯 ※電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、アイロンを放置したままその場を離れないでください。

3 アイロンをスタンドに置き設定で温度を設定する

※スタンドに置かないと、温度設定ができません。

ドライ ノーマルスチーム
衣類に合わせて「低」・「中」・「高」のいずれかに設定する

点滅 「中」に設定するとき

衣類に給電表示がないときはスタンドの繊維案内表示を参考にしてください。

ニ-WL600 イラスト使用

ハイパースチーム ショット
必ず「高」に設定する

点滅 「中」や「低」では水もれしたり、ショットが出ないことがあります。

4 温度表示ランプが「点滅→点灯」したら使用する

- アイロンをスタンドから外すと、温度表示ランプは消えます。

頑固なシワを上手に伸ばすには
ショットをかけると効果的です。

ショットボタン

●ショットボタンを操作する。（操作回数の目安：5～10回）
2秒間隔より早く操作しないでください。また、ショットの勢いが弱くなったら操作しないでください。（湯滴が出てやけどの原因）
ショットの勢いが弱くなったら、給電してからお使いください。

●スチームとショットの両方を使うと、ショットの勢いが弱くなることがあります。

パワーショット
アイロンを水平にして使う。

ハンガーショット
アイロンを立てて使う。

軽く引っ張る

かけ面を衣類から離して、目立たない所のためしがけをしてからお使いください。（特にカシミア等の起毛した衣類）

ご使用例

セーター
全体仕上げ
伸びきった袖口やゴム編み部分

ショットを全体にかけて形を整えます。
ショットをたつぷりかけ、たて方向に引っ張りながら整えます。

背広／コート
ハンガーにつるしたままの衣類に

コートや毛足の長い衣類は…
ショットをかけた後、水分を残さないようにお手持ちのブラシで毛足を整えます。

お願い と お知らせ

- アイロンを横や逆さにしないでください。（水もれの原因）
- ご購入後、しばらくは使用中にアイロン（ゴムや樹脂）の臭いがすることがありますが、異常ではありません。
においが衣類に移ることもありません。
- アイロンをスタンドに置いたときに少量のスチームが出ますが、異常ではありません。
（アイロン内部の水路にたまっている水が少しずつ蒸発するため）

スチーム切換レバー

ドライの場合
「☁（ドライ）」にする

スチームの場合
薄手の布や混紡などの仕上げに「☁（ノーマルスチーム）」
厚手の布や綿、麻などの仕上げに「☁（ハイパースチーム）」

スプレーボタン
（NI-WL600のみ）
ガンコなシワや、綿・麻などの植物性繊維のシワ伸ばしに。

アイロンを水平にして、スプレーボタンを操作する。

●霧吹きとしてお使いいただけます。
●スチーム切換レバーが、どの位置でも使用できます。
また、設定温度に関係なくお使いいただけます。

アイロンをかけていないときは

給電をしましょう
（必ず専用のスタンドをお使いください）

接続部へ確実に戻す

- 逆方向や横方向に置き、接続部が変形すると、通電できなくなります。
- アイロンをスタンドへ戻したときに、ランプが点滅していれば、点灯するまでお待ちください。

スチーム、ショット、スプレーが出にくいとき

- スチーム・ショットのとき
使いはじめの場合は、**ショットボタンを数回操作**してください。
使用中の場合は、**約30秒間給電**してください。
- スプレーのとき … **スプレーボタンを数回操作**してください。
※タンクの水が少なくなったときは、満水目盛まで水を入れてください。

低温のものから高温のものへ

アイロンの温度上昇に応じてかけると、時間のムダがありません。前もって衣類を分類しておきましょう。
※高い温度から低い温度に設定すると、低い温度になるまで数分かかる場合があります。

低 → 中 → 高

絵表示の見方と温度の関係

絵表示の見方例

絵表示	繊維製品の種類	温度設定位置	かけ面の温度	設定温度になるまでの時間
☁	絹・毛・ナイロン	低	約120℃	約1分10秒
☁	ポリエステル	中	約160℃	約1分20秒
☁	綿・麻	高	約200℃	約1分40秒

※混紡の場合は、低い方の繊維の温度に合わせてください。

スプレーのり・洗濯のりなどを使うとき

スプレーのり等の仕上げ剤
洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、必ず「ドライ」でアイロンかけを！（P.13）

●少し固めに仕上げたいときは…
スプレーのり → アイロンかけ（ドライ）
を繰り返します。
（一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびり付く原因になります。）

かけ面にのりが付着した場合は、その都度お手入れを！（P.14）
※付着したまま使うと、かけ面にのりがこびり付き、取れにくくなります。
また、かけ面に布の色が付着し、布に色移りする場合があります。

洗濯のり付けをした生乾きの衣類
「ドライ」でアイロンかけを！

接着芯など、のりが付いているもの
必ず「あて布」をして、アイロンかけを！

コードレスアイロン
衣類にアイロンをかけていないときにスタンドへ戻しておくと、設定温度を保ち、コード付きのアイロンとほぼ同様に使えます。

水もれストッパー
使用中、かけ面温度が下がると、スチームが止まります。動作するとき、内部で「カチン」と音がします。

うっかりストッパー
アイロンをスタンドに放置しておくと、約10分後に自動的にヒーター回路を「切」にします。
続けて使用する場合は、温度設定をやり直してください。

5 ご使用後は

1 温度設定を「切」にする
●「切」にしないで電源プラグを抜くと、マイコンが記憶している前回の設定温度になることがあります。

「切」ランプ点灯

①5～10cm程度引き、
②ゆっくりと巻き取る

●水を捨てた後、タンクに水滴が残りますが、差し支えありません。

2 スチーム切換レバーを必ず「☁（ドライ）」にし、タンクの水を捨てる
（水もれ、腐食防止のため）

3 電源プラグをコンセントから抜きコードを収納する
●コードは最後まで収納してください。（ケースにコードがはさまり、破損の原因）

4 ケースをまっすぐかぶせ手で押さえ確実にセットする
●アイロンは熱いまま収納できますが、ケースに水滴が付く場合があります。

ケースがスタンドに確実にセットできているを確認する。

① → ② 「カチッ」

お手入れ ※電源プラグを抜き、よく冷めてから！

かけ面に付着したのり
よく冷えてから、その都度ぬれた布でふき取る
※クレンザー・シンナーなどは使わないでください。

アイロンやスタンド
「やわらかい布」でふく
※汚れがひどいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を布に含ませてください。

アイロンの接点
「やわらかい布」でふく
※磨かないでください。（接触不良の原因）

接点

スチーム穴がつまったらときは、お近くの販売店に修理をご依頼ください。

アイロンかけのポイント

押さえる
折り目ははっきり付けたい所やガンコなシワの部分はしっかりと押さえて。

浮かせる
毛足の長いウール繊維の仕上げや、こみ入ったデザイン部分の仕上げに。

両手を使って
片方の手で布地を引っ張りながらシワを上手にのぼして。

縫い目は引っ張り気味に
細かいシワが残らないように片方の手で引っ張り気味に。

カフス
内側にアイロンをすべり込ませながらしっかりと。

襟
引っ張りながら、両端から中央に向かって半分ずつかけます。

かけ面を上手に活用！

アイロンを持ち替えずにどの方向でもかけられます。
必要以上の力をかけないで衣類の上を軽くすべらせるだけでOK！

面積が広い衣類は横にすべらせると効率アップ！

かけ面の後部でも細かい部分をかけられます。